

お元気ですか

発行所・(福)横浜市社会福祉協議会
障害者支援センター

〒231 横浜市中区桜木町1丁目1番地
-8482 横浜市健康福祉総合センター9階
TEL 045(681)1211・FAX 045(680)1550
http://www.yokohamashakyo.jp/siencenter/

編集発行人・森 和雄

2017/12

「あんしんノート」に綴る親の思い 書き方講座より

障害者支援センター
はこの九月、「あんしんノート」(*1参照)書き方講座を実施した。インストラクターは「NPO法人ゆうの風(以下、「ゆうの風」)や「横浜重心グループ」の皆さん。この講座は平成二十二年度から開催(二十六年年度までは「ゆうの風」が、それ以降は、障害者支援センターが市から受託)され、今回を含め受講者は約八百人を超える。

「丁寧に綴る」

伊深さんは、以前から「あんしんノート」の存在は知っていたが一人で書き始めるのは難しいと感じていた。しかし「自分に何かあったら」という思いが募っていた時に「書き方講座」の事を知り参加したと言う。「例えば、衣類の着脱。本人が衣類を自分で選べるのか、あらかじめ用意する必要があるのか。暮らしに必要な一つ一つの事柄に、どのような「支援」があれば出来るのかを考えるきっかけになった。これまで、親として何気なくやってきたことを丁寧に綴る『支援ノート』のようなものとして捉えられた」と感想を話してくれた。



受講者の伊深祐子さんに、お話を伺った。

「将来に向けて」

息子の友喜さんは二十五歳。毎日、旭区内の事業所に通所している。スウェーデン刺繍などの自主製品作製や調理などを行っている。「朝起きてから通所の準備、帰宅後の食事、入浴など、最近は生活の予定を持つことが習慣となりました。『自分でやりたい』という様子も感じられ、親元から離れていく準備が出来てきたように思う。グループホームも選択肢の一つでしょうか」とお子さんの将来に思いをはせる。そのためにも、あんしんノートをじっくり書き込んでいきたいとのことだ。

「ノートの改定版」

ゆうの風では今年九月にあんしんノートの改訂版を作成した。改訂版では関係機関が一目で分かるような「支援マップ」や成年後見制度に関する項目(*2参照)も掲載。

成年後見等の選任

子どもの成年後見人をお願いしたい人/法人等 該当に○をうる

氏名または名称	連絡先	本人との関係	現状
			イ：了承を受けている ロ：話している ハ：まだ話していない

*2 ノートより抜粋。後見人候補に関する希望の有無や親族・きょうだいへの思いを記載する欄などが追加された。

【問合せ先】

NPO法人ゆうの風
電話・FAX 045-681-1211
1-472-1383
Eメール:y-kaze1017@you-kaze.main.jp
ばさばネットワーク事務局
FAX 045-681-1381
1-98-07, Eメール:pazapanet@live.jp

*1 あんしんノート
障害のある人が地域で安心して暮らしていくため、ご本人の希望や生活状況、ご家族の思いなどの情報を必要な時に取り出せるようまとめた記録。

望遠鏡

「二〇二〇年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて」
東京オリンピックとくれば一九六四年東京大会の記憶がよみがえります。バレーボール、マラソン、柔道、体操競技等の名選手や名勝負、国中がオリンピックに沸き立ちました。それはまた、高度経済成長の中で、戦後からの復興を象徴するイベントでもありました。
あれから五十六年後となる二〇二〇年東京大会は、どんな大会になるのでしょうか。オリンピック・パラリンピックの開催を通じて、どのようなレガシー(遺産)を創出していくのか、ということが大切なテーマとなっています。
大災害の経験や日本を巻き込む大きな環境の変化を、どのように受け止め、何を築いていくのか問われています。二〇二〇年オリンピック東京大会を契機として「共に生きる社会」の姿を世界に発信していきます。
(セイフティネットプロジェクト横浜代表 平井 晃)

障害のある本人が学ぶ 中区 性に関する研修の取り組み



参加者全員でO×クイズ!

「プライベートゾーン」
と表現し、「プライベートゾーンは人前で見せても良い?」「人に、触らないでと言われたら?」などとクイズ形式で参加者とやりとり。

ブルースカイ(中区・NPO法人新運営)は昨年、通所者を対象に健康教室を開催。今年「性」「食事」「衛生」「性」とし、対象をこの法人が運営する区内日中事業所に広げて実施。十一月に開催された「人とのキョリ」について?障害当事者の性に関する研修会(参加者約三十名)の様子を報告する。

職業上の経験を生かし「性」に関する研修講師を積極的に引き受けている。「一番伝えたいことは、自分の体を守ることに、他者を大切にすること。特に本人が性被害などにあわなされたために、嫌なことをされそうになったら、嫌だと表現できること、どんな人が何をしたいのか周りの人に伝えられることを学んでいただけたら」と語る。



自分を中心にして、周りの人との距離を考えるワーク

「プライベートゾーン」や「人とのキョリ」川上さんはまず、水着で隠れるところを「プライベートゾーン」と表現し、「プライベートゾーンは人前で見せても良い?」「人に、触らないでと言われたら?」などとクイズ形式で参加者とやりとり。



プライベートゾーンの説明 (当日の資料より)

実践を
参加したメンバーは「参考になった」「分かりやすかった」「もっと勉強したい」と感想を話してくれた。暮らしに必要な様々な情報を本人にわかりやすく提供し、そして学べるよう、みんなで取り組んでみよう。

実施。互いに印のキョリを見あつたりして、「人とのキョリ」を考えるきっかけに。最後に「同じ作業所にいる人と手をつなぎたくなったら?」と川上さんはみんなに聞いてみる。「仲良くなりたいた時はまず、あいさつから始めてみてはどうでしょうか。話が出来るようになって、相手がオーケーを出してくれば少しづつ仲良くなっていくといいね。でも、嫌だと言われたらやめましょう。自分も相手に嫌なことをされたら嫌だし、断ることも大切」と締めくくる。



▲與那嶺さんが初めて描いた作品。カブカブ川和で作っているクッキーのラベルをこんなに作りました。

「絵を描くことが大好きな與那嶺さん。けれど、実はカブカブ川和に通うまでは、絵は描いたこと...」



地域作業所 カブカブ川和(都筑区)

與那嶺 光雄さん

がなかったという。周りのメンバーが描いているのを見て、初めて絵を描き始めた。「頭に浮かんだことを、紙に描くことが楽しい。特に、カブカブ川和に足を踏み入れると、メンバーさ...」

仲間がいろいろいいね 〜ひよこ会ひよこグループの一日〜



おはよう！今日も沢山遊ぼうね

十月の終わりに「ひよこ会ひよこグループ」（以下、ひよこグループ）を訪問した。鶴見区障害者地域活動ホーム「もとみや」で、毎週月・水曜日に活動している、二〜三歳の子どもたち十三人の地域訓練会だ。

■さあ、始めましょう

協力者の声掛けを合図に保育の開始。音楽にあわせてみんな輪になり楽しく踊る。小さな手をたたいたり、足ぶみをしたり。お気に入りの曲になると、がぜん張り切る子どもの姿に思わず笑顔がこぼれる。

入会后一カ月くらいは親子で保育に参加。子どもが慣れてくると、朝の会から帰りの会までの時間は母子分離をする。子どもたちが協力者と過ごす間、お母さんたちは別室に。情報交換や、時には会の行事の準備や勉強会をすることもあろう。

■小さな変化を大切に

参加間もない子どもの中には泣いたり、すねてしまう子もいる。「うちも初めはそうでしたが、毎週通っているうちに楽しく参加できるようになりまし

た。小さな変化をみんなが一緒に喜んでくれるのが嬉しい」と言うのは昨年から参加しているお母さん。たくさんの子どもをみてきたベテラン協力者は「みんなとってもかわいいでしょ。どんな子も安心して参加できる雰囲気大切にしています」と語る。

■お外に出かけよう

ひよこグループは「歩く」ことや「外で遊ぶ」ことを大事にしている。晴れている日は公園に出かけてブランコやすべり台で遊んだり、ボール遊びなどを

する。遊びを通して、しっかりと身体を動かしている。さっきまで「歩きたくない」とべそをかいていたのに、いつの間にか皆と一緒にかけっこをしている子ども。帰り道は手をつないで歩きたくてお友だちの手をのばしている子ども。

協力者は、そうした一つひとつの変化を見ながら、集団活動になじんでもらえるよう保育をしている。入ってよかったこと「会に入ってから一番よかったのは、何でも仲間と話せるようになったこと」「先輩お母さんや協力者の具体的な体験談や、地元の情報



よーい、ドン！！

- ひよこ会ひよこグループの日課●●
- 10:00 ~ 遊戯
- 10:20 ~ 朝の会・手遊び など
- 10:45 ~ 散歩・外遊び (公園など)
- 12:00 ~ 昼食
- 12:45 ~ 自由遊び
- 13:00 ~ リズム体操・帰りの会
- 13:30 終了



工程を丁寧に伝え、また、折り作業を終えて、刺繍を始めるメンバーにも声掛けをする気配りを忘れない。

スコップ泉(泉区)

木村 文恵さん

木村さんがボランティア活動を始めたのは、区社協広報紙に「手工芸を一緒にやりませんか？」の記事を見たことがきっかけ。スコップ上飯田でボランティア活動を始めたのは、区社協広報紙に「手工芸を一緒にやりませんか？」の記事を見たことがきっかけ。スコップ上飯田でボランティア活動を始めたのは、区社協広報紙に「手工芸を一緒にやりませんか？」の記事を見たことがきっかけ。



メンバーさんと一緒にナプキン折りを木村さん(左)

午前中はメンバーと一緒に「ナプキン折り」毎日、約千枚を発注元から指定された数や種類を折る作業をこなし、お昼過ぎに納品。納品時間に間に合わせるために、休憩時間も作業を続けようとするメンバーに「納品に間に合うから大丈夫よ。休憩とって」と優しく声掛けする木村さん。三週間前から通所し始めたメンバーには、一つひとつの



メンバーさんと一緒に畑仕事をすることも。木村さん(右)

障害者後見的支援制度 本人の将来とともに 考えるための取り組み

この十月で、後見的支援制度がスタートし、八年目を迎えた。

本人の将来とともに考えるために、各支援室では、必要な情報を本人や家族にわかりやすく届けようと、様々な取り組みを行っている。今回は、青葉区障がい者後見的支援室ほっぷ(以下「ほっぷ」と地域の関係機関が連携した取り組みを紹介する。

障害のある方とご家族のための… 「親あるうちの準備」を考える連続講座

1	本人の将来に関する相談・支援体制について	青葉台 地域ケアプラザ
2	障害者の年金と福祉サービスの利用方法について	鴨志田 地域ケアプラザ
3	障害者グループホームでの生活について	大場 地域ケアプラザ
4	親あるうちにできる「心の準備」	さつきが丘 地域ケアプラザ
5	成年後見制度(法定後見)の概要	もえぎ野 地域ケアプラザ
6	親などの親族による後見活動の実際	ピオラ市ケ尾 地域ケアプラザ
7	法人後見や、生活を支える制度	恩田 地域ケアプラザ
8	相続と遺言についての基礎知識	すすき野 地域ケアプラザ
9	障害者のご家族のためのマネープラン	奈良 地域ケアプラザ

【主催】青葉区自立支援協議会
【企画・共催】青葉区基幹相談支援センター、青葉区障がい者後見的支援室ほっぷ、青葉区内の各会場の地域ケアプラザ

きつかけ ほっぷの面談で、登録者のご家族から「成年後見制度はよくわからない」などとよく尋ねられる。同じような気持ちを持っている多くの方に情報を伝えていきたいと思い、青葉区基幹相談支援センターとほっぷで講座の企画案を検討。青葉区自立支援協議会に提案し、「親あるうちの準備」を考える連続講座

(表参照)を行うことになった(第一回から六回まで延べ参加者数・二七四名)。

例えば：
成年後見制度の理解
一度、説明を聞いただけでは理解しにくい成年後見制度。制度の説明だけでなく、家族の体験談も聞きたいという要望を取り入れた講座を十月三十一日に実施した(四十八名が参加)。講師は、娘さんの親族後見人である阿部倉さん。後見の申し立ての経緯やその手続き、自らの後見活動について、時系列に沿って話していただいた。参加者からは「今まで遠いと思っていたことがグッと身近に感じられた」「母親目線のお話で分かりやすかった」「気力のあるうちに親族後見含め色々勉強していこうと思った」などの感想が寄せられた。

関係機関との連携
参加しやすい、身近なところで講座を開催

しよと、区内の全域ケアプラザに出向き、協力を求めた。ピオラ市ケ尾地域ケアプラザ包括支援センターの寺西さんは「これまで障害のある方の支援者とあまり接点がなかったが、今回の講座をきっかけに、複合的な課題がある相談援助をはじめ、普段の仕事でも連携していければと思う」と話す。

ほっぷの担当職員帆苺さんは「毎回、定員を上回る申し込みがあり、この講座への関心の高さに驚いている。支援室だけでは難しいが、地域の関係機関と協力しながら、これからも何らかの形で続けていきたい」と語った。



家庭裁判所とのやり取りを語る阿部倉さん

第8回 D-1グランプリ エキシビジョン大会

去る九月六日にD-1グランプリエキシビジョン大会が横浜ラポールで行われた。今回は歴代の優勝団体四組が集い、盛り上がった大会となった。

過去三回優勝した夢21上星川は揃いのはっぷを着て、掛け声も揃った迫力のある「ソーラン節」を披露。

第五回優勝の第2かたるべ社は「未熟者」パボラー「砂漠」という演劇で出演。一日で作ったという台本は、会場を驚かせた。

みんなで盛り上がったダンス

気合の入ったソーラン節

ジャスミンの西遊記

第2かたるべ社の演劇

第六・七回優勝のジャスミンの「西遊記」は衣装も悟空の武術も本格的。あっという間の楽しい時間だった。来年のDASHIMONO(ダシモノ)が今から待ち遠しい。

第二回優勝のウイアーシモノが今から待ち遠しい。

を守るため「という思いから「川島新撰組」と

あゆみ荘 だより

「くずがやゆめひろば」夏編「開催

七月三十日(日)、「くずがやゆめひろば」水遊び&流しそうめん@東方公園」が開催されました。

「ゆめひろば」は、都筑区葛が谷エリアの各地区社協、障害児地域訓練会などで構成する実行委員会と、葛が谷地域ケアプラザ、都筑区社会福祉協議会、都筑地区センター、横浜あゆみ荘の共催で、地域と障害児世帯をつなぐことを目的に、障害児の余暇支援活動や保護者勉強会を実施しています。



水遊びで大はしゃぎ!

当日は早朝までの大雨が上がり、涼しい中で実施。参加児童はボランティアとペアを組み、地区社協スタッフが用意した様々な水遊び用具で大はしゃぎ。お昼には流しそうめんを行い、満面笑みの中楽しい時間を過ごしました。



楽しい! 流しそうめん



勉強会風景

同時に開催した勉強会では、「親からの自立」グループホームなどでの生活」をテーマに、有意義な情報交換が行われました。

◆全客室の全面禁煙について

平成三十年一月より全客室禁煙とさせていただきます。なお、あゆみ荘での喫煙は、二階ふれあいホールに設置しています喫煙室をご利用ください。

◆外壁等の改修工事について

平成二十九年十月十日(火)から平成三十年二月二十八日(水)まで。工事期間中はご迷惑をおかけいたしますが、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

◆年末年始の休館日

平成二十九年十二月二十八日(木)から平成三十年一月三日(水)まで

◆施設整備点検に伴う臨時休館日

平成三十年一月二十三日(火)から二月一日(木)まで

※お問合せは、

横浜あゆみ荘まで
電話(九四一)八三三三



HEART MADE 通信 ハートメイドカタログ改訂

ハートメイドカタログが三年ぶりに改訂、表紙のデザインが新しくなりました。

多くの商品を紹介できるように、商品を増やし、従来にも増して魅力ある商品を掲載しています。アクリルタワシや布巾などは複数の製品が掲載されていますが、質・色あい・デザインと事業所の個性があふれているので、お好みにあった商品をお選びいただけます。新商品の中からいくつかご紹介いたします。

【お菓子】「シフォンケーキのラスク」は、ふわふわのシフォンケーキをラスクにし、サクツとした食感で口の中とろけます。
【紙製品】「御朱印帳」和紙でできた、和柄のかわいい御朱印帳です。



お詫びと訂正
当センター発行「お元気ですか」名簿編-」において記載内容に誤りがございましたので、訂正し、お詫びいたします。
1) 17ページ
せや福祉ホームの【交通案内】
【誤】相鉄バス「細谷戸第三」行
【正】神奈中バス「細谷戸第五」行
2) 26ページ
神奈川区「キッチンみなと」「ワークスみなと」の【法人代表者名】
【誤】伊藤 満 【正】伊東 満

御朱印集めに、神社やお寺巡りをしてみてはいかがでしょうか。
【アクセサリー】「ぼーちゃんストラップ」は、まるく、モコモコした毛糸玉のようなゆるキャラ「ぼーちゃん」のストラップです。ぼーちゃんの表情がとてもかわいらしい商品です。その他いろいろな商品が掲載されています。カタログは、各ふれあいシヨップのほか、左記にご連絡いただければ送付いたします。
※お問い合わせは、
ハートメイド担当
電話(六八二)一一三一一
FAX(六八〇)一五五〇〇

支援センターだより

障害者支援センター
平成三十年感謝の集いのご案内

障害者団体に対し、日頃からご協力・ご支援いただいている方々への感謝と交流の場として「感謝の集い」を開催します。

感謝状贈呈式典のほか、団体のアトラクションなど、楽しい催しもあります。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

【日時】平成三十年二月三日(土)午前十一時三十分から

【会場】横浜ラポール・ラポールシアター他
【会費】三千元